

子どもは、求めている

校長 佐藤 宏美

子ども達、保護者、地域の方々、職員が会う度に日焼けした健康的な笑顔になり、大変うれしく思っています。寒いながらも晴れた運動会、5年宿泊学習、部活動の試合等を通して、子ども達は日増しにたくましくなってきました。4月に入学した1年生は学校生活に慣れ、大きな声であいさつできるようになってきました。

今後も日々の学習や親子体験学習、水泳等を通して健やかに成長することを願い、全職員心と力を合わせて教育活動を推進します。

さて、「寝9時」という言葉を聞いたことがありますか。親に言われたことはありませんか。この言葉は寝る（ふとんに入る）時刻は9時だという躰を表す言葉です。昭和の時代はゲーム機もあまりなくテレビを夜遅くまで見る習慣がなかったため、通用していたかもしれません。私が子どもの頃は、躰の一つとしてとても大事にしている家庭がたくさんありました。規則正しい生活習慣が身に付くように親が常に口にしていたのではないのでしょうか。

同じように食事風景を表す言葉に「一家団らん」があります。家の中にいる人が一緒に食事をしている風景や家族が茶の間に集まって和やかに話している様子等を表した言葉ではないのでしょうか。私はこの「一家団らん」という言葉を聞くとマンガ「サザエさん」一家の食事風景を思い出します。家族全員が丸い飯台（テーブル）を囲んで、語り合いながら食事をしている風景です。幸せの時を感じます。

最近、個食・子食・孤食という言葉を目にしました。

個食…家族がいるが個人個人で別に食べる食事
子食…子どもだけで食べる食事
孤食…一人だけで生活している人の食事

いずれも「一家団らん」と違ってさびしさを感じます。子ども達は、本当は親や大人、兄弟と一緒に何かをしたり、話したりしたいと思っています。そして、「ほめたり」「しかられたり」して欲しいと思っています。特に食事の時は、話しながら楽しく過ごしたいと思っています。

家族全員が家の中にいるのに、それぞれが好きな時刻に好きな所で好きな物だけを食べている家族があると聞き、とても悲しくなりました。

子ども達は、大人の強さ、優しさ、厳しさを求めています。どうぞ、できるだけ、規則正しい生活の中で、一緒にいる時間を作ってあげてください。お願いします。